

おお大勝利

平成 27 年度山東サッカー部報第 1 号 (4 月 8 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

春の関東遠征を終えて

3 月 26 日~31 日にかけて、春恒例の関東遠征に行ってきました。関東の中のどこに行くかは、私が赴任して以来なかなか定まらず、山梨(not 関東!)へ行ったり、鹿島ハイツに行ったり、いろいろありましたが、一昨年から山東恒例のチバエンこと千葉への遠征に復帰しております。昨年は、埼玉で大宮東さんと試合させてもらってからその足で千葉に入り、翌日船橋二和さんに相手にしてもらい、遠征三日目からいわゆるチバエンこと千葉ファミリー大会に参加したのです。今年は、諸事情により、チバエンに入る前に、波崎のグリーンサッカーフェスティバルに 2 泊 3 日で初参加 (正規は 3 泊 4 日)。現在山形東サッカー部、2 年生 (新 3 年生) 選手が 8 名、1 年生 (新 2 年生) 部員が 10 名の計 18 名しかいないため、A・B2 チーム作るには選手の補充が必要。夏や冬の遠征ではOBの力を借りていたが、春の遠征ではやる気のある新入生を連れていくことができる (もちろん、保護者の承諾・保険の加入等、万全な準備で)。今年特別選手数が少ないため²、過去最多の 5 名の新入生に声をかけると、皆快諾。この遠征、**ベジータことシュン、タイセー、カイト、カンタ、ヒロことカワノ**以上 5 名協力を得て、何とかA・Bの2チームを結成。しかし、それでも選手は 23 名。そのうち 1 名は事情があって学生コーチに就任した新 2 年ユータローなので、バリバリ走ることのできるのは 22 名。要は、2 チーム分を前提するとミニマムの選手数。怪我人が出るとその時点でアウト、という厳しい状況。よって、**OBヨシタカ** (千葉大学新 2 年) とその相棒**コテッチャンことテツヤ** (東京歯科大学新 1 年) の 2 名のOBの力も借りる (要は「外注」した戦力 7 名!)。

この遠征、4 月すぐに始まるリーグ戦に向けた**最終的なチーム作りの場**と位置づけ、選手・ポジションの見極めを目的としていました。また、いわゆる**勝ち癖**をつけスムーズにシーズンインすることもチームの目標としていました。サッカーの中身に関して言うと、ダイレクトに相手ゴールに迫る速攻 (カウンター) を武器としつつ状況に応じて手厚く攻める 2 段構えの攻撃と、前からどんどんプレスをかけに行く「ハメに行く守備」を基本としつつそれがうまくいかない時にリトリート (退却) してブロックを敷く 2 段構えの守備について、手掛かりをつかみたいと考えていました。しかし、遠征二日目、攻撃の核であるエースFWムンタリが相手GKと交錯し膝を故障して戦線を離脱すると、速攻という武器を奪われた山東は守備でも綻びを見せ、神奈川県茅ヶ崎北陵さんに完敗、三日目も埼玉の春日部さんに逆転負けと良いところなし。**守備で粘ってしぶとく勝ちを拾う山東らしい試合もあるにはあるが、不安定というか、持続できない波崎ラウンド。**

対してBチームは、ヨシタカとコテッチャンに新入部員が絡み、Aでは見られないパスワークを展開。「こんなにボールが回るBチームは初めてだ」と頬を綻ばせるも、そのボール回しの

¹ マネージャーは各 1 名ずついますので、部員としては 20 名。

² 昨年と比べても、春の段階で 2 名選手が少ない。

中心にいるのは現役生ではないのだから、よくよく考えれば意味がない。ともかく、**徐々に故障者が増え、Aでフルに出た選手をすぐBでも使う苦しいチーム状況で、千葉へと向かう。**

千葉ラウンドからは、これまたOBでヨシタカ・コテッチャンと同期の**ヤグチ**が駆けつけてくれる。苦しいチーム状況だけに、うれしい限り。袖ヶ浦高校、市立稲毛高校、そして最終日は、昨年同様茂原北陵高校さんにお世話になる。袖ヶ浦、市立稲毛にて行われた試合では、ムンタリ依存症を克服する萌芽がみられ、**特に袖ヶ浦で行われた市立千葉との試合は、この遠征のベストの試合と言ってよく、ムンタリ不在でも面白いチームになってきた手応えがありました。**しかし、**苦しいチーム状況が元気な選手を酷使することにつながり、疲労をためてプレーするその元気な選手も故障してしまう悪循環**にはまり、日を追うごとにチーム状況はボロボロ。遠征でたくましくなり、徐々にチーム力が高まっていくのが遠征の理想ですが、選手がフレッシュだった遠征初日が一番チーム力があつたのでは、などと感じられるようではちょっと厳しい。最終日 31 日、故障者マックスの状態、人工芝ピッチを整備し強化をはかる千葉の私立高校茂原北陵に挑みましたが、相手チーム・人工芝ピッチに申し訳ない山東のパフォーマンス。**茂原北陵の監督の尾関先生**は、茂原工業の時代から山形東の面倒を見てくださっていた山形東の恩人に当たる方³。その方の前で、頑張っている姿を見せたかったのですがね～。手応えも厳しさも両方感じた春の関東遠征、茂原を最後に山形への帰路につきました。

関係チーム、関係業者、バスのドライバーさん、そして、OBの 3 名、本当にありがとうございました。また、保護者会の皆さま、激励金ありがとうございました。佐竹校長先生からはご芳志頂戴いたしました。お陰さまで、OBにおいしいお酒と、29 日には地元のおいしいお寿司をごちそうすることができました⁴。本当にありがとうございました。

すぐ、公式戦が始まります。応援よろしくお願ひします。

4月11日(土) Y1第1節 日大山形戦 @米沢市営サッカーフィールド 10:00~

♪連絡♪

山東サッカー部のトレーナーを 4 年務めてくださった名和さんが、このたび横浜の治療院に就職され、山形を離れることとなりました。トレーナー資格は持っていましたが、鍼灸師の資格取得のため仙台の予備校に通いながら、山東サッカー部や国体の山形県選抜の選手を 4 年にかけて診て下さいました。今回就職されたのは大学ハンドボールのチームとつながっている治療院だそうで、今後も競技の現場で活躍することが期待されます。「いずれはサッカーもやりたい」と仰っていた名和さん。今後はわれわれが名和さんと同じチームにいたことを誇らしく思う大活躍を見せて下さい。また、昨年途中から同じくトレーナーとして山東の選手の診て下さいました吉住さんも、東京の治療院に就職され、山形を離れることとなりました。お二方、これまで本当にありがとうございました。

³ 私の前任の監督尾先生(新3年カツミパパ)の選手時代も見届けている方です。ちなみに、波崎ラウンドでは、退職されている東海大浦安の元顧問の方も帯同しており、対戦した折に「山形東、懐かしくて～」などと気さくに挨拶していただきました。私も選手時代、東海大浦安に揉んでもらった覚えもあり(インターハイ出場が決まった後に行った強化遠征でも東海大浦安さんに胸を借りた覚えがあります)、そんな昔話で盛り上がりました。元顧問の佐竹校長を始めとして、その前任の正浩先生や過去の顧問の方々の築きあげた信頼関係に支えられていると感じさせられた今回の遠征でした。

⁴ 山東サッカー部後援会(OB会)から以前頂いていた強化費も、佐竹校長のご芳志と合わせ、今回参加してくれたOBの補食費として使用させて頂きました。ありがとうございました。